

大和IR、「2018年インターネットIR表彰」を発表

大和インベスター・リレーションズ株式会社(東京都中央区 社長:長谷川 常雄 以下、「大和IR」)は、上場企業のIRサイトを独自の基準で評価・採点を行い、特に優秀なIRサイトの構築および情報開示ならびにコミュニケーション活動で有効に活用している131社を以下の通り、受賞企業として選定いたしました。

2018年評価基準の策定においては、「フェア・ディスクロージャー・ルール」の施行、「コーポレートガバナンス・コードの改訂」の観点から採点項目の見直しを行いました。

なお、2019年1月11日(金)に表彰式を開催し、受賞企業には記念品を贈呈させていただきます。
内容につきましては、別途ご案内申し上げます。



◆ 2018年インターネットIR 最優秀賞:9社 (※証券コード順)



双日(2768)
リクルートホールディングス(6098)
ミネベアミツミ(6479)
日本電気(6701)
伊藤忠商事(8001)
三井物産(8031)
KDDI(9433)
カプコン(9697)
ソフトバンクグループ(9984)



◆ 2018年インターネットIR 優秀賞:36社 (※証券コード順)

国際石油開発帝石(1605)	麒麟ホールディングス(2503)
東急不動産ホールディングス(3289)	TIS(3626)
昭和電工(4004)	三菱ケミカルホールディングス(4188)
中外製薬(4519)	クレスコ(4674)
富士フイルムホールディングス(4901)	コニカミノルタ(4902)
セガサミーホールディングス(6460)	富士電機(6504)
オムロン(6645)	TDK(6762)
三菱重工業(7011)	日産車体(7222)
曙ブレーキ工業(7238)	ヤマハ発動機(7272)
オリンパス(7733)	丸紅(8002)
加賀電子(8154)	パルコ(8251)
三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)	みずほフィナンシャルグループ(8411)
アコム(8572)	SOMPOホールディングス(8630)
MS&ADインシュアランスグループホールディングス(8725)	ソニーフィナンシャルホールディングス(8729)
第一生命ホールディングス(8750)	東京海上ホールディングス(8766)
T&Dホールディングス(8795)	大京(8840)
NTT都市開発(8933)	日本電信電話(9432)
NTTドコモ(9437)	ベネッセホールディングス(9783)



◆ 2018年インターネットIR 優良賞:86社 (※証券コード順)



大和ハウス工業(1925)	アサヒグループホールディングス(2502)
サントリー食品インターナショナル(2587)	不二製油グループ本社(2607)
フィールズ(2767)	味の素(2802)
ヒューリック(3003)	J. フロント リテイリング(3086)
TOKAIホールディングス(3167)	野村不動産ホールディングス(3231)
森ヒルズリート投資法人(3234)	帝人(3401)
東レ(3402)	コロプラ(3668)
アステリア(3853)	日産化学(4021)
トクヤマ(4043)	協和発酵キリン(4151)
三菱ガス化学(4182)	積水化学工業(4204)
宇部興産(4208)	セプテーニ・ホールディングス(4293)
電通(4324)	大日本住友製薬(4506)
エーザイ(4523)	参天製薬(4536)
オリエンタルランド(4661)	ソフトバンク・テクノロジー(4726)
サイバーエージェント(4751)	楽天(4755)
ソフトブレーン(4779)	資生堂(4911)
ライオン(4912)	JXTGホールディングス(5020)
コスモエネルギーホールディングス(5021)	AGC(5201)
日本板硝子(5202)	日本特殊陶業(5334)
新日鐵住金(5401)	住友金属鉱山(5713)
UACJ(5741)	LIXILグループ(5938)
キャリアリンク(6070)	ナブテスコ(6268)
小松製作所(6301)	住友重機械工業(6302)
日立建機(6305)	栗田工業(6370)
グローリー(6457)	日立製作所(6501)
東芝(6502)	富士通(6702)
沖電気工業(6703)	セイコーエプソン(6724)
アンリツ(6754)	横河電機(6841)
日本光電工業(6849)	アドバンテスト(6857)
シスメックス(6869)	川崎重工業(7012)
三菱自動車(7211)	SUBARU(7270)
ニコン(7731)	HOYA(7741)
キヤノン(7751)	リコー(7752)
シチズン時計(7762)	ヤマハ(7951)
リンテック(7966)	豊田通商(8015)
東京エレクトロン(8035)	住友商事(8053)
三菱商事(8058)	丸井グループ(8252)
新生銀行(8303)	イオンフィナンシャルサービス(8570)
野村ホールディングス(8604)	日本取引所グループ(8697)
レオパレス21(8848)	日本通運(9062)
日本郵船(9101)	川崎汽船(9107)
ANAホールディングス(9202)	GMOインターネット(9449)
東京ガス(9531)	ファーストリテイリング(9983)

*株式会社大和証券グループ本社は選考から除外しております。

(ご参考) 2018年「インターネットIR表彰」の概要

企業IRはインターネットに包摂されるという『5T&C』*の考え方のもと、上場企業のホームページを調査・評価しています。審査・選定にあたり、青山学院大学大学院国際マネジメント研究科の北川哲雄教授にご監修いただいております。

*Timely(適時性)、Transparent(透明性)、Traceable(追跡可能性)、Trustworthy(信頼性)、Total(包括性)+Communication(双方向性)

◆審査過程 <審査期間:2018年6月1日～10月31日>

■ 一次審査

上場企業 3,782 社を対象に、インターネット IR において基本となる項目に、2017 年基準より「有価証券報告書」の掲載状況を追加した下記項目について審査しました。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ①適時開示情報の掲載状況 | ⑤その他の任意刊行物の掲載状況 |
| ②コーポレート・ガバナンス | ⑥プレゼンテーション資料の掲載状況 |
| ③決算短信、有価証券報告書の掲載状況 | ⑦外国語サイトの設置 |
| ④株主向けの任意刊行物の掲載状況 | ⑧お問い合わせ先の表示 |

■ 二次審査

一次審査を通過した 1,103 社の日本語版 IR サイトについて、定量的評価基準である大和IRスコアボード(日本語版)に基づいて詳細に評価しました。

【大和 IR スコアボード(日本語版)の大項目】

①トップページ	トップページがサイト内の情報へ投資家を適切にナビゲートできているか。
②コーポレートプロフィール	自社のビジネスモデル、強み、業界環境などを説明しているか。
③経営方針・計画	IRに対する基本的な考え方、方針、体制等ならびに事業計画や経営戦略が説明されているか。
④ESG	法制度やトレンドを意識し、対話に必要な ESG 情報を提供できているか。
⑤株式・株価情報	株式情報、株主還元情報など投資に必要な情報を提供できているか。
⑥財務データ	主要な財務情報の掲載や財務データなどを投資家の立場に立った内容及び方法で提供しているか。
⑦IRライブラリー	IRに関連する資料が、十分な種類、量、アーカイブで提供されているか。
⑧プレゼンテーション	すべての投資家に公平な情報伝達を図るべく、IRイベントに関する情報を十分に掲載しているか。
⑨サイト使用時の留意事項	投資家が利用するにあたって、IR サイトとしての必要な注意がなされているか。
⑩コンタクト	投資家とのコミュニケーションを図るため、双方向性を意識したサイト運営がなされているか。
⑪ユーザビリティ	ユーザビリティの向上が図られているか。
⑫ICT利活用の促進	IT 技術及び新たなデバイスへの対応ができているか。

■ 最終審査(英文審査)

日本語版の評価点が 65 点以上の 306 社の英語版 IR サイトについて、日本語版と同様に開示すべき共通項目に下記の英語版独自評価項目を加え、詳細な評価を実施しました。この英語版の評価点と二次審査における日本語版の評価点を日本語版:英語版=5:5 の比率で統合し、総合評価点を算定しました。

【英語版独自評価項目の主なポイント】

- ① 英文のクオリティ
- ② 日本語と英語の開示情報量の公平性
- ③ 日本語と英語の開示タイミングの公平性

なお、英文のクオリティに関する審査においては、ジ・アイアール・コーポレーション株式会社(東京都港区)にご協力いただいております。

◆受賞企業選定基準と選定方法

- ◎ 総合評価点が 90 点以上の企業を「最優秀賞」候補として選定。
- ◎ 総合評価点が 80 点以上の企業を「優秀賞」候補として選定。
- ◎ 総合評価点が 70 点以上の企業を「優良賞」候補として選定。

上記総合評価点をベースにインターネット IR 表彰選定委員会にて表彰企業を選定しております。

○ 北川教授略歴

- ◆ 早稲田大学商学部卒業、同大学院修士を経て、中央大学大学院博士課程修了(経済学博士)。
- ◆ 1981 年以来、野村総合研究所、モルガン信託銀行(現 JP モルガンアセットマネジメント)等でアナリスト業務に従事した後、2005 年より現職。
- ◆ 専門は「コーポレート・コミュニケーション」「コーポレート・ガバナンス」「ファイナンシャル・レポーティング」。
- ◆ 主な社会的活動として、日本 IR 研究会理事、証券経済学会理事、日本証券アナリスト協会試験委員・編集委員会委員。
- ◆ 主な著書・監訳として、
 - ① 『コーポレートガバナンス・コードの実践 改訂版』(分担執筆、武井一浩他、日経 BP 社)2018 年
 - ② 『ガバナンス革命の新たなロードマップ』(単著、東洋経済新報社)2017 年
 - ③ 『統合報告の実際～未来を拓くコーポレートコミュニケーション』(監訳、ロバート・G・エクレス他著、日本経済新聞出版社)2015 年
 - ④ 『コーポレートガバナンス・コードの実践』(分担執筆、武井一浩他、日経 BP 社)2015 年
 - ⑤ 『ステewardshipとコーポレートガバナンス: 2 つのコードが変える日本の企業・経済・社会』(編著、東洋経済新報社)2015 年
 - ⑥ 『証券アナリストのための企業分析(第 4 版): 定量・定性分析と投資価値評価』(共著、貝増眞他、東洋経済新報社)2013 年
 - ⑦ 『IRユニバーシティ～ IRオフィサー入門』(単著、国際商業出版)2010 年
 - ⑧ 『資本市場ネットワーク論～IR・アナリスト・ガバナンス』(単著、文真堂)2007 年
 - ⑨ 『コーポレート・ガバナンスと企業価値』(分担執筆、石崎忠司他編、中央大学出版部)2007 年
 - ⑩ 『企業価値向上のための IR・経営戦略』(共著、岡田衣里他 東洋経済新報社)2004 年
 - ⑪ 『企業分析と資本市場』(単著、東洋経済新報社)2000 年

○ ジェ・アイアール・コーポレーション株式会社概要

- ◆ 1980 年 2 月設立。本社所在地は、東京都港区赤坂 5 丁目 2 番 20 号 赤坂パークビルディング。
- ◆ 35 年以上の IR 支援の知見と経験を発揮し、統合報告書に不可欠な、きめ細かなお客さまサポートを社内一貫制作体制で実現。
- ◆ とくにネイティブ スピーカーで構成されるライティング セクション、エディティングセクションによる、質の高い英文作成、校閲、校正に定評。
- ◆ 東証一部上場企業を中心におよそ 450 社、制作したアニュアル レポートの数は 2,000 冊以上にのぼる豊富な実績。
- ◆ 日経アニュアルレポートアワード、WICI ジャパン統合報告優良企業賞で受賞歴多数。

大和IRは、資本市場に幅広い専門分野を持つ大和証券グループのネットワークを活かし、上場企業・上場予定企業のIRを総合的にサポートしています

以上

【お問い合わせ先】大和インベスター・リレーションズ株式会社

インターネット IR 事務局 堂下・青柳 (電話:03-5555-4111 E-mail:biz_dev@daiwair.co.jp)